

## 会 議 録

会議名		第2回市民憲章見直し検討委員会	
事務局(担当課)		経営改革課	
開催日時		平成28年7月13日(水) 18時30分から20時10分	
開催場所		市役所4階 庁議室	
出席者	委員	新川達郎、平岡けいこ、藏原亜紀、松尾幸恵、三井ハルコ、武内秀男、加門文男、後藤正順、佐々木史恵、真鍋静香	
	その他		
	事務局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、志波経営改革課長、的場経営改革課長補佐、八尾主査、山田	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		(1)開会 (2)議事 (3)その他 (4)閉会	
会議結課		別紙審議経過のとおり	

## 審議経過

発言者	発言内容等
	【事務局説明】
委員	3番の本文で、「市民の皆さまと協働し」というのは行政から住民を見ている表現なので、おかしいのではないかと。
会長	この市民憲章をいったい誰が、誰に対して、どういう目的で掲げるのかというところは大事かもしれない。
委員	資料1を見て、前文を設けるかどうかで、かなり内容がかたくなったり、やわらかくなったりしている。前文は、個人的にあまり必要ないのではないかと気がする。
委員	文章が短くて、文字を読むのが得意ではない人にも受け入れられやすいので、2番がいいと思った。
委員	2番の本文の並び方は変えてもいいと思った。ハード的なものやにぎわいといったことを言った後で、ソフト的なことを言った方が良いのではないかと。文の数を絞って、余韻を残るものがないのではないかと。
委員	2番がコンパクトにまとまっていて良いと思う。最後の語尾は、「～しましょう」という形もありではないかと思う。
委員	4番がいいと思う。短歌のリズムになっていて、読みやすいので、学校などでも唱えられるのではないかと。
委員	4番は、内容がばらばらしていて、全体のまとまりがないのではないかと。
委員	2番目は、「まち」と体言止めになっていていいと思ったが、少し短くて、もの足りないような気がした。前文も、イメージや言葉が重なるところは、分かりやすくなるので、そぎ落とした方がいい。「私たち市民は～」でもいいような気もする。
委員	前文があった方がいいと思う。ただし、始めの「川西市は～」というのは、行政目線になるような気がするので、「私たち市民は～」という書き出しにしたほうが良いのではないかと感じている。
委員	「我々から～したい」という形の前文であれば、前文があった方がいいと思う。
委員	みんなが声をそろえて唱えているところがイメージできるものがないのではないかと。
委員	(持参した案について)イメージが重なるところを短くひとつの言葉にした。ですます調を強い感じにした。2つ目は、語尾は語呂がいい感じになるよう体言止めに

発言者	発言内容等
	している。
委員	今出していただいた案の中に、平和という言葉が両方とも入っているので、いいと思った。また、共生という言葉が好きでいいと思った。
委員	子どもたちがはたして理解できるのかと思いましたが、いかがでしょうか。
委員	漢字で書いているので、ひらがなにすると、やわらくすることができる。
委員	ひらがなにすると意味がわからなくなるのでは。漢字だからこそ理解できるところもあるのでは。
委員	そのようなことはない。そんなに難しい言葉は使っていないので。子どもたちが歌う校歌にも難しい言葉が入っているし、ざっくりとわかれば大丈夫ではないか。
会長	ひらがなバージョンも作ってみないといけないかもしれない。
委員	ここの難しい漢字だけをひらがなに置き換えたらいいのではないか。
委員	2番の「子どもたち」を「若人」とか「若者」に変えると、意味合いが違ってくるのか。
委員	受けるイメージが違ってくる。「子ども」というと小さい子どもをイメージしてしまうので、大きくは変わらないが、「若者」にしてもちょっとイメージが大人っぽくなるだけで、未来を託すというニュアンスになると思う。
委員	前文に「郷土愛」とあるが、これは当たり前のことなので、1番のように入れる必要はないように思う。
委員	前文の「郷土愛を胸に抱き」を省いて、「私たち市民は、あんばいええまちをつくるため～」で十分であると思ったがいかがでしょうか。
委員	賛成である。すっきりとしていて覚えやすい。
委員	文章の中で「清和源氏」とあるが、「清和」まで入れる必要があるのか。「清和」まで入れると固くなってしまう感じがする。
事務局	市の方で紹介する時には、清和天皇からということで、「清和源氏」と特定した言い方をしている。先ほど見てもらった市歌では、「源(みなもと)」という形で、特に清和というところには、触れていないということもある。
会長	そんなにがっちりと考える必要はないかもしれない。
委員	川西市は南北に細長く、「源氏」も「里山」も北部に属している。南部の言葉は、

発言者	発言内容等
	<p>何かないか。全域を網羅しているような言葉はないか。</p>
委員	<p>憲章なので、これからをどうしようかというものであるから、地域にこだわる必要はないのではないかと。</p>
委員	<p>前文は、「私たちは、あんばいええまちをつくるため、ここに幸せ憲章を定めます」のように、シンプルなものが良いのでは。</p>
委員	<p>「あんばいええまち」が何十年ももつのか、少し疑問である。</p>
委員	<p>市民憲章は未来永劫のものではなく、今回のように時代にあった見直しはどこかで必要ではないか。</p>
委員	<p>先ほどの前文、サンプルの2の本文に賛成である。4つ目の「豊かな自然を守り、心安らぐまち」、5つ目の「にぎわいと活気にあふれるまち」を前にもってきてはどうか。</p>
委員	<p>「かわにし」を頭にすることにこだわり過ぎると、難しいかもしれない。</p>
委員	<p>特産品の文言を入れるのは、難しいように思う。</p>
委員	<p>体言止めは、短くてわかりやすい。</p>
委員	<p>できるだけ柔らかい表現が良い。</p>
委員	<p>2番の3つ目の「いきいきと笑顔が輝くまち」は、2つ目の「子どもたちの希望に満ちたまち」か、5つ目の「にぎわいと活気にあふれるまち」に併せることができるのでは。4つにまとめると、シンプルになる。</p>
委員	<p>「平和」、「共生」の言葉は良いと思う。ただ、表現が少し難しいようにも思う。</p>
委員	<p>「かわにし」を頭にシンプルにすることもできるのではないかと。「か」は「輝く」のほかに、「語り合う」なども考えられる。</p>
委員	<p>パブコメでかなりの意見が出た場合は、本文を練り直すことも考えられるのか。市民憲章なので、市民参画のプロセスは重要である。</p>
会長	<p>場合によっては、練り直すことも考えられる。</p>
委員	<p>社訓のように、唱和できるようなものが良い。例えば、コミュニティの会合で毎回唱和できるようなものを。</p>
委員	<p>漢字よりもひらがなの方がなじみやすく、柔らかくなる。</p>

発言者	発言内容等
委員	みんなに覚えてもらえるような、できるだけ短い文章が良い。
委員	「育む」は力強く、あたたかい言葉である。
委員	委員の「あんばいええまち」を頭にする案は、短くシンプルで覚えやすい。
会長	いただいたご意見をまとめると、2番の本文の5つを4つにして順番を入れ替え、「かわにし」を頭にするものとししないもの、漢字とひらがな、単語の入替など、いくつかの案ができると思う。それぞれの案を掛け合わせて、事務局でもうひと工夫して作成願いたい。
事務局	今回いただいたご意見を踏まえて、事務局でサンプルを作成する。